

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 30 日作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 26 日作成

事務事業名	人権啓発老人憩いの家維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名 塩地由梨
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践	所属班	啓発教育班	(内線) 2427
				法令根拠	合志市生坪・立割老人憩いの家条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	⑫
	1	3	1	8	10883			コスト削減優先度評価結果	⑥
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		~	年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
旧西合志町の生坪地区と立割地区に昭和56年から57年にかけて同対事業で建設された、老人憩いの家の管理を行う事業。

**【業務の流れ】**  
地元区長に管理を委託するための手続き事務、委託料の支払い、光熱水費(電気、上下水道、ガス)の請求に基づく支払い事務。施設管理に伴う消耗品の購入並びに支払い事務。施設修繕費の支払い事務。

**【主な予算費目】**管理用消耗品代、光熱水費(電気料、上下水道料、ガス代)、施設修繕料、施設管理委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	地元区長に施設管理を委託して維持管理を行ってもらう。立割老人憩いの家については、放課後児童クラブの利用(2年間)	
地元区長に施設管理を委託して維持管理を行ってもらう。立割老人憩いの家については、放課後児童クラブの利用(3年間)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア 施設利用回数	回
	イ 利用者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
施設の利用者	ア 施設利用対象者数	人
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
不都合なく安全に利用してもらう。	ア 施設維持管理上不具合・トラブル件数	件
	イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
人権を尊重する活動に取り組むようになる。	ア 過去1年間で人権教育啓発活動に取り組んだ人の割合	%
	イ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	125	287	193	131	196	196	
	(A) 事業費計	千円	125	287	193	131	196	196	196	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	3	3	3	5	3	3	3		
延べ業務時間	時間	12	40	40	37	40	40	40		
(B)人件費計	千円	48	159	159	147	159	159	159		
トータルコスト(A)+(B)	千円	173	446	352	278	355	355	355		
活動指標	ア イ	回 人	60 100	60 100	60 100	293 3,470	60 100	60 100	60 100	
対象指標	ア イ	人	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	
成果指標	ア イ	件	0	1	0	2	0	0	0	
上位成果指標	ア イ	%	33.4	47.8	34.5		35	36	37	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
昭和57年度に、老人福祉法並びに地域改善対策特別措置法の精神に基づき、老人に対して心身の保持、教養の向上及びレクリエーションのための施設として、設置したので、その維持管理を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
平成18年2月の2町合併により、法令が、合併前の「生坪老人憩いの家の設置及び管理等に関する条例」と「立割老人憩いの家の設置及び管理等に関する条例」から「合志市生坪・立割老人憩いの家条例」に変わった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特に聞いていない。

事務事業名	人権啓発老人憩いの家維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 人権啓発老人憩いの家の適切な管理を図り、利用者の活用を推進することは、差別をなくす活動につながることにあり、目標が施策とも結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 人権啓発や心身の保持、教養の場としての施設であり、市の管理により利用を進めていかなければならない。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 維持管理事業は、利用者が不都合なく安全に利用するためのものなので、対象・意図ともに見直した。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 憩いの家の維持管理で現状維持に努める。 他の事業からの憩いの家の利用についての協議があったら検討していく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 憩いの家の維持管理を廃止すると、利用者に快適な利用をしてもらえなくなり、憩いの家との交流を通して、情報を共有し、差別をなくす活動につなげていくという目標が達成できなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 近くに集会所等の施設があり、二重の維持管理が必要となっているため、見直しの余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の経費を計上しており削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の職員で事務をしており、削減余地はなく、事務内容からして現状のままが適切である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 現状としては地元の人利用が主であるが、市民を対象としており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、他の事業からの憩いの家の利用についての協議があったら検討していく。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
利用者の交流の場であり、人権学習をして、人権啓発活動を広めていく大事な場であるので、今後は利用者がもっと増えるよう考えていかなければならない。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

利用者数を増やしていくため、地元区長さんとも連携しながら、利用の呼びかけをしていかなければならない。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )